

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な雰囲気の中でその人らしい支援をします。プライバシーを守り個性を大切にします。地域に開かれた暮らしを目指します。」という3つの理念を掲げている。	○	地域密着型サービスとして、地域住民との交流や地域との関わりを重視し実践していることから、3つ目の理念をさらに「地域住民の一員としての暮らし」をとらえた理念として掲げ、さらに実践されることを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員ともに利用者への生活支援の考え方は共通しており、理念に基づいて取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、回覧板などを利用者とともに職員が同行し、隣人に回したり、地区の行事に職員が積極的に参加し、ホームも地域の一員として認知されている。	○	職員の参加のみならず、利用者も地域の一住民として、地区の老人クラブや敬老会などへの参加がなされることが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員ともに、評価の意義をとらえ、改善事項を積極的に検討していく姿勢は大変すばらしい取り組みである。	○	運営者も共に評価の意義を理解し、ホームを運営する立場として、運営課題への対応に責任を果たすことが望まれる。また、管理者・職員の取り組み姿勢を評価することにより、さらなる発展が期待される。

宮崎県都農町 グループホームあおぞら

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族会・自治会・行政などの協力により、運営推進会議が定着化してきており、ホームへの理解と協力関係が構築されてきている。	○	地域包括支援センターや民生委員・老人クラブの方々の参加も促していくことが求められる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営や地域への働きかけなどを検討する際には、積極的に行政に相談し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ホームでの多彩な行事の様子を家族承諾を得て写真掲載したホーム便りを作成し利用者の状況を報告している。また、健康状態などは随時連絡を入れたり、面会時に報告している。	○	預かり金の金銭管理簿も家族訪問時に確認しているが、確認印・日付の明記を確実に行うことが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員が席を外した状況で、家族会のみで話し合う機会を設け、不満や苦情を出しやすい場を設定しており、それを受けて意見を反映させている。	○	重要事項説明書の苦情受付窓口については、町や国民健康保険団体連合会も含めて記載されることが望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者・職員の努力により、やむを得ない職員の離職に際しても、他の職員が十分にカバーして対応している。	○	運営者は、職員の労働環境の整備を考慮していくことが望まれる。

宮崎県都農町 グループホームあおぞら

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修への参加機会を多く持ち、職員を育てる取り組みがなされている。	○	研修復命書の職員全員と運営者への回覧確認印を徹底すると共に、さらに運営者が現状の理解を深めることを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内にある同業者の職員との交流もあり、利用者も同行した訪問活動等を行い、相互の交流を深めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に、家族や利用希望者もホームに訪問していただくことにより、なじみの関係を築くように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	80歳代・90歳代と高齢の利用者が多い中、職員が先輩から学ぶという姿勢で、一人ひとりの個性を重視しながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	花壇の花の手入れや洗濯物たたみなど本人の意向を尊重した暮らしの有り様を工夫し、取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月の職員会議において、ケアのあり方や本人の意向を取り入れたプランを検討し、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しを行い、担当職員からのアセスメント状況を確認しながら、介護計画の見直しを行っている。	○	介護計画と日常的な記録・評価の流れを組み立て、記録様式の検討を行い、簡素化を図ると共に、全職員がよりわかりやすくするための工夫が求められる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	墓参りや自宅訪問、なじみのスーパーへの買い物など利用者の希望を取り入れたり、保育所や学校行事などへも積極的に参加し柔軟な支援を行っている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医が定期的に往診したり訪問看護なども取り入れ、かかりつけ医の全面的な協力関係があり、適切な医療が受けられる環境が整備されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に状態変化によるホームでの生活についての説明を行っている。また、重度化、終末期への対応についてかかりつけ医との連携で可能な限り対応している。	○	今後、ターミナルに向けたホームの方針を明確にし、対応できる環境整備が必要と考えられる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	利用者への丁寧な言葉かけを行い、一人ひとりを尊重したケアが行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの個性を認め、優しく見守り、寄り添いながら、ペースにあわせた支援を行っている。		

宮崎県都農町 グループホームあおぞら

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	心落ち着けるさりげないバックミュージックが流れる中、利用者、職員が楽しい談話をしながら一緒に食事が行われている。また、準備や片づけなど利用者の状況に合わせて支援がなされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	通常は、午後に入浴時間を設定し本人の希望に応じて行われている。	○	職員配置の問題もあるが、利用者の希望に応じた時間設定の幅を広げることも検討されることを期待したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	小学生の月1回の訪問による交流やホームでの買い物企画、音楽祭など多様な楽しみを作り出し、その中での利用者の役割を見だし、支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩も含め、季節ごとの地域の行事、花見や外食、保育園訪問などが積極的に行われている。また、回覧板も職員と利用者が隣の家と一緒に持っていくなど外出する機会を作り出している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵はかかっている。屋外に出たとしても、利用者の行動を把握し見守りながら対応しているとともに、鍵をかけないケアが理解されている。		

宮崎県都農町 グループホームあおぞら

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力による年1回の訓練を行うとともに、より安全な環境整備のための改善点を協議しながら対策を講じている。	○	避難口の確保の必要性があげられているので、是非対策を講じていただきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量を毎日確認し、栄養バランスを考えたメニューにより、食事量も把握されている。今後掛かりつけ病院の栄養士の指導・協力をもらいながら、より適切な対応ができるよう取り組まれている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	のれんや壁飾りなどにより家庭的な雰囲気を持ち、季節の花々が生活に潤いをもたらしている。また、なじみの音楽が緩やかな時間の流れを作り出しており、快適な生活空間づくりがなされている。居間から眺められる外の景色は、光や風の動き、木々の変化を感じ取られる環境にある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の希望に応じ、家族の写真や使い慣れた日用品や、作品、花々などを持ち込み、落ち着ける生活空間を作り出す工夫がなされている。		

※  は、重点項目。